

2016年1月1日  
49号

# かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院  
〒312-0057  
ひたちなか市石川町20番1  
TEL 029 (354) 5111  
発行人 飯嶋和秀  
編集 広報委員会  
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

## 【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

## 【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確認し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

## 【2015年度品質目標】

・地域医療ビジョンに基づく医療を提供する・地域包括ケアシステムを構築する（救急、訪問診療科と地域ITネットワークを充実する）・院内事故調査委員会等安全管理システムを緻密化する・教育・研修センターを再構築する・データウェアハウスを完成し、データ管理を徹底する・産科の再開に向けた環境整備する・電子カルテをシステム更新する（As Is から To Beへ）・院内全体の役割分担と責任権限を徹底的に追究する・持続成長可能な病院経営する（医療のスマトラを推進する）

## 新年のご挨拶

院長 永井庸次



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては清々しい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は国からがん診療連携拠点病院の認可を頂きました。この地域でのがんの診断、治療、特に手術、化学療法、放射線治療、さらに緩和ケアという集学的治療体制を早急に整える必要があると痛感しております。また、本年1月からはがんの全国登録制度が施行されます。がんの罹患率がどの程度で、治療成績がどのようであるという全国規模での検証が開始され、国のがん対策推進基本計画の中間評価報告とともに1つの時代が到来すると考えております。

また、昨年10月からは医療事故調査制度が開始され、「医療に起因する予期しなかった死亡事故」は御遺族の了解のみに第三者機関に届け出て、外部委員を含めた院内事故調査を開始することが義務付けられました。これは誤解のないように追加しますと、過失の有無を問わずに報告するというもので、要は責任追及ではなく、原因究明と再発防止のための制度です。本年6月にはこの制度と異状死に関連する医師法第21条の見直しが始まりますが、当院としましては、皆様方にその診断・治療をどのように考え、どのように判断して実行したかを詳細にお話しし、納得いただける医療を提供していきたい

と考えております。透明性と説明責任を持って医療のガバナンス（統治）を果たす所存ですので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

4月には診療報酬改定があります。マイナス改定と思いますが、安心・安全で信頼性の高い医療は健全なる経営のもとに成り立つと思います。その意味でも4月からの助産師外来、10月からの院内助産の立ち上げをぜひ成功裏に迎えたいと思っています。また、本年半ばには地域医療構想を策定する必要があります。2025年、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる、あと10年先の年にこのひたちなか市でどの程度の高度急性期、急性期、回復期（地域包括ケア病棟を含む）、慢性期の病床が必要かということ、県、市、医師会、病院団体等で検討します。これでもって2018年の医療・介護計画策定、医療・介護同時改定に望むことを国は公言していますが、現在この地域の30%前後の患者さんは水戸市に外来、入院ともに流出しております。その流出度合いが10年後にも同様として当地のベッド数を現在と同じで良いとして固定するのか、それとも高齢者の方々の水戸への外来・入院は年々難しくなり、当地にそれなりのベッド増を確保するか、まさにこの半年で決めていくこととなります。また地域包括ケアシステムという医療と介護の連携体制の構築も必須であり、本年は今まで以上に皆様方地域の方々と当院を含め、ひたちなか市、医師会、薬剤師会、歯科医師会、在宅医療関係者の皆様方との連携が必要だと思います。

最後になりますが、この1年間の皆様方のご多幸とご健勝を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

## ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

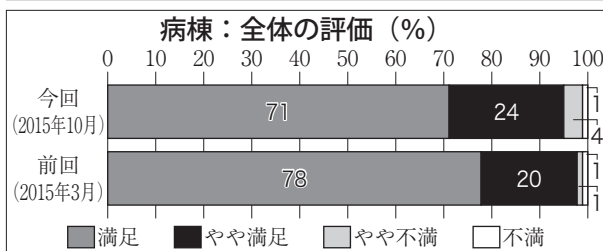
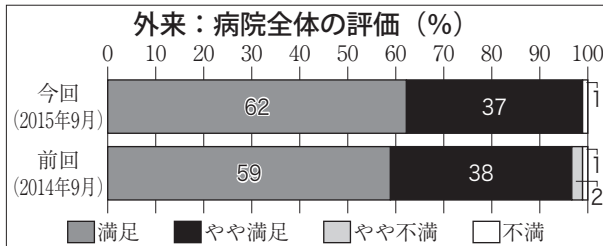
1月	2月	3月	4月
日 月 火 水 木 金 土 ③ ④ ⑤ 6 7 8 ⑨ ⑩ ⑪ 12 13 14 15 ⑬ ⑭ 17 18 19 20 21 22 ⑮ ⑯ 24 25 26 27 28 29 ⑰	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ ⑭ 15 16 17 18 19 ⑰ ⑱ 22 23 24 25 26 ⑲ ⑳ 28 29	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ 14 15 16 17 18 ⑲ ⑳ 21 22 23 24 25 ⑳ ㉑ 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨ ⑩ 11 12 13 14 15 ⑬ ⑭ 17 18 19 20 21 22 ⑮ ⑯ 24 25 26 27 28 29 ⑰

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

## 患者さん満足度調査結果が まとめられました

地域の皆様が納得・満足される病院を目指し、外来患者さんアンケートを実施しました。実施は9月28日と29日の2日間で583名の回答を頂きました。

また、病棟においては、退院患者さんを対象に10月1ヵ月間アンケートを実施し、251名の回答を頂きました。総合的な印象の設問結果を下図に示します。今回の調査結果をもとに、より良い病院となるよう努めてまいります。

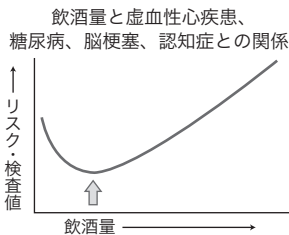


## 節酒にチャレンジ！ヘルスアップ！

健診センタ 青木 章子

新年会などお酒を飲む機会が多いですね。体調を崩さないよう配慮しながら楽しみたいものです。大切なことは、空腹で飲まないこと、食べながら飲むこと、酒の合間に水や茶も飲むこと、アルコール度の高い酒は水やソーダで割ることなどです。

男性では、1週間の純アルコール量が280gを超えると、生活習慣病のリスクを高めると言われています。1日の飲酒量に換算すると、日本酒なら2合、25度焼酎なら200cc、ビールなら中瓶2本です。女性では140gで、男性の半分の量にあたります。右図のように、飲酒量が多くなると、虚血性心疾患、糖尿病、脳梗塞、認知症のリスクが増えます。



やはり、1日1合以内、週2日の休肝日をつくるのが大切なようです。そこで、今年は、少し飲酒量を減らす努力をしてみませんか？減らす方法は、簡単です！

1. 飲む量を決める
2. 飲んだ量を記録する（あわせて、血圧や血液検査の結果も記録する）

◎記録に便利な無料アプリや記録用紙もあります。

（節酒・アプリなどで検索）

- ・γGTPは1か月やめると半分に減ります。
- ・血圧も飲酒量を減らすと3週間で10下がります。
- ・3週間でぐっすり眠れるようになります。

生活習慣病を予防し、ヘルスアップするために、ぜひ、チャレンジしてみてくださいね。

## 「糖尿病教室」のご案内

当院の糖尿病教室は、内科 大西医師を中心とした院内の専門スタッフで構成されたチームにより患者さんが必要としている知識や情報をお届けできるように活動しております。どうぞご利用ください。

### ■主な学習内容（担当スタッフ）

病態（医師）、フットケア・セルフカウンセリング（看護師）、生活習慣・体重管理（保健師）、薬物療法（薬剤師）、運動療法（理学療法士）、検査項目・自己測定（臨床検査技師）、口腔ケア（歯科衛生士）、食事療法（管理栄養士）

### ■2月の学習予定表

開催日	時間	内容
2月9日 (火)	13:20~13:50	糖尿病の病態（大西医師）
	13:50~14:20	便秘の話（看護師）
	14:20~14:50	運動療法（理学療法士）

### ■3月の学習予定表

開催日	時間	内容
3月8日 (火)	13:20~13:50	口腔ケア（歯科衛生士）
	13:50~14:20	フットケア（看護師）
	14:20~14:50	食事療法（管理栄養士）

日時等をご確認のうえお申込みください。

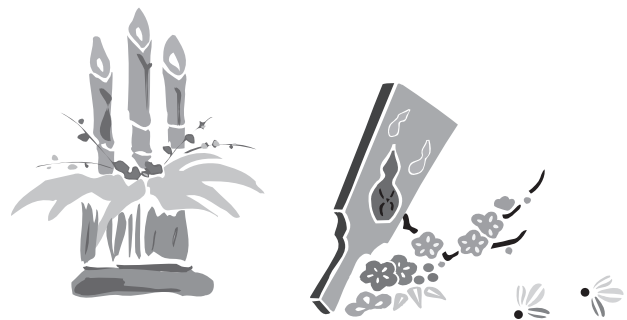
### ■参加対象者

当院へ通院中の糖尿病患者さんとそのご家族。

### ■お問合せ先

参加方法、学習内容等、下記へお気軽にお問い合わせください。

ひたちなか総合病院栄養室（直通）029-354-6349



## 医師異動の紹介

診療科	氏名	異動日
リウマチ科	倉島悠子	採用(2015.12.1)
	久後舟平	退職(2015.11.30)
臨床研修医	永渕美帆	採用(2015.11.1)
	蔵本健也	採用(2015.12.1)
	野上正雄	採用(2015.12.1)
	松田高明	採用(2016.1.4)